

# 会報

2022  
No.8

## 目次

巻頭言	1
ごあいさつ	2
各地区里親会の活動紹介	3
施設と連携した自立支援活動	5
秋田の里親応援団より	6
秋田県里親連合会結成66年によせて	8
里親を応援する会より	10

## 巻頭言

### イライラしない子育てを目指して



佐々木 則夫さん

NPO法人グレープネット・  
ゆり副理事長  
由利明誠高等学院学院長  
不登校支援相談員協議会  
事務局長  
CPA(子育て講座)講演講師  
昭和31年生まれ。  
明治大学卒。  
グループホームいなほ専務  
取締役(～令和2年)

● 連絡先  
由利明誠高等学院  
0184-23-6081

私は、昭和60年から15年間インド国ムンバイ市に滞在し一人親の貧困家庭を対象に、子どもの教育支援と物資援助を行ってきました。帰国後は、由利本荘市で不登校生徒に高校卒業資格を取得してもらうための小さな学院を運営しています。平成15年設立以来、卒業生は50名にも満たないですが、その卒業生のうちの3割は自立できずに苦しんでいます。こんな子どもたちの就労支援が、現在私が抱えている直近の課題であります。

さらに現在、私が活動の柱としているのは、子育てに悩まれる親御さんにコミュニケーション能力を身に付けて頂き、より豊かな子育てを目指す「イライラしない子育て講座」の推奨です。

ご周知の通り秋田県のみならず就学児童は年々減少しているにもかかわらず、不登校、引きこもり、児童虐待、生活保護受給者(引きこもりからの延長)は増加の一途をたどっています。国としてもスクールカウンセラー・適応指導教室等の措置は施しているものの減少には至っていません。これに歯止めをかけるには、当学院のような対症療法も大事ですが、ワクチン接種のように予防策として、そうなる前に教育の根本である子育ての段階から見直していくことも大事な改善策ではないかと思われれます。

そこで私たちは、より多くの出産前のお母さん、お父さんに同講座を学んで頂くため、国に「産前子育て教室」の制度化を求めて、現在署名運動を展開しております。従来の対症療法的な措置と予防法的な対応策の両輪をもって取り組むことにより、躓いてしまう子どもを大幅に減らすことができると考えております。

この活動を通して、親御さん方が「子育てが生きがいです、喜びです!」と言うようになり、親子が笑顔で暮らせる家庭、社会になる一助になればと考えております。

## あなたを必要としている子どもがいます

はじめませんか  
“里親登録”

### 養育 里親

保護者のいない子どもや虐待などの理由により保護者が養育することが適当でない子どもを養育する里親です。(里親研修を受講する必要があります。)

### 専門 里親

虐待を受けた子どもや障がいのある子どもなど、専門的な援助を必要とする子どもを養育する里親で、養育里親として3年以上の委託児童の養育経験が必要です。(専門里親研修を受講する必要があります。)

### 親族 里親

実親の死亡や行方不明などで、祖父母などの三親等以内の親族が子どもを養育する場合の里親です。

### 養子縁組 里親

養子縁組によって養親となることを希望する里親です。(秋田県では里親研修を受講する必要があります。)

# ごあいさつ

## 北児童相談所 所長 千葉 俊彦



皆さん、こんにちは。私が最初に児童相談所に勤務したのは、今から30年前になります。その頃は、200組近い里親さんがいて各都市ごとに地区の里親会があり、特別養子縁組制度ができて間もないことも相まって、会の活動はかなり活発だったと記憶しております。

時が経ち、10年前には里親数が50組程度まで落ち込んだものの、貴会をはじめ児童福祉施設職員等関係する皆さんの御尽力により、現在は150組近くまで盛り返し、それに比例するかのように里親等委託率も上昇していることは、家族と一緒に暮らすことのできない子ども達の生活の選択肢が間違いなく増えている証であると認識しております。

受託経験のある里親さんからの体験談や里親さん相互の交流による情報交換などは、里親会ならではの貴重な活動であり、社会的養育を推進する上で、皆さんの役割は非常に重要であります。今後も、皆さんと一緒に各種事業に取り組んでいきたいと存じますので、引き続き、御指導、御協力をお願いします。

## 秋田県中央児童相談所 所長 鈴木 弘哉



皆様こんにちは。4月に中央児童相談所へ着任した鈴木と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

児童相談所の勤務は初めてになりますが、着任以来、ほぼ毎日のように虐待通告があり、これまでテレビや新聞での報道は見ていたものの、虐待がこんなにも多いことに驚きを感じました。背景には、誤った「しつけ」の考え方や複雑な家庭環境、障害を持った子どもへの対応の難しさ、コロナ禍による生活様式の変化など多くの要因がありますが、ふと、自分の子育てでは間違っていないのかと少々不安にもなりました。

家庭での養育が難しく、様々な事情を抱えた子ども達には、温かい家庭環境で暮らすことが成長していく上で極めて重要であり、その子ども達を受け入れて愛情を注いでくださる里親の皆様には、感謝と尊敬の念に堪えません。児童相談所としても、皆様に支援しながら児童の健全な育成が図られるよう一緒に歩んで参りたいと考えておりますので、今後ともご協力を願いたします。

## エーナファミリー

～秋田県にもっと「里親の輪」を広げたい～そんな想いから、里親PRキャラクターが誕生しました！  
今よりもっと、たくさんの方々に、里親について考え、応援していただければと思います。

「エーナファミリー」は、秋田県 健康福祉部 地域・家庭福祉課が作成しました。



## 令和4年度 里親応援カレンダー

里親さん向けイベント（研修・サロン）のお知らせです。イベントの内容にご興味のある方は、各施設へお問い合わせください。すでに里親登録されている方だけでなく、里親に関心のある方のご参加も大歓迎です。

エリア	全 県	県 北	県 央		県 南
会 場	秋田赤十字乳児院	北秋田市コムコム	感恩講児童保育院	聖園天使園	横手市内
4月	24日(日)10:00～12:00		14日(木)13:00～15:00	20日(水)13:00～15:00	
5月	24日(火)10:00～12:00	22日(日)10:00～12:00	14日(土)13:00～15:00 (受託中の方対象)	20日(金)13:00～15:00	15日(日)10:00～15:00
6月	24日(金)10:00～12:00	19日(日)10:00～12:00	15日(水)13:00～15:00	20日(月)13:00～17:00	19日(日)10:00～15:00 (未委託の方対象)
7月	14日(木)10:00～12:00	10日(日)10:00～12:00	16日(土)13:00～15:00 (未委託の方対象)	20日(水)13:00～15:00	10日(日)10:00～15:00
8月	4日(木)10:00～12:00	28日(日)10:00～12:00	未定 10:00～12:00	20日(土)13:00～17:00	21日(日)10:00～12:00
9月	4日(日)10:00～12:00	18日(日)10:00～12:00	10日(土)10:00～15:00	20日(火)13:00～15:00	25日(日)10:00～15:00 (未委託の方対象)
10月	4日(火)10:00～12:00	16日(日)10:00～12:00	18日(火)13:00～15:00	20日(木)13:00～17:00	16日(日)10:00～15:00
11月	4日(金)10:00～12:00	27日(日)10:00～12:00	12日(土)15:00～17:00 (受託中の方対象)	20日(日)16:00～18:00	13日(日)10:00～15:00
12月	4日(日)10:00～12:00	18日(日)10:00～12:00	未定 10:00～12:00	20日(火)13:00～15:00	18日(日)10:00～12:00 (受託中の方対象)
1月	14日(土)10:00～12:00	22日(日)10:00～12:00	15日(日)13:00～15:00 (未委託の方対象)	20日(金)13:00～15:00	22日(日)10:00～15:00
2月	4日(土)10:00～12:00	26日(日)10:00～12:00	未定 10:00～12:00	20日(月)13:00～15:00	19日(日)10:00～15:00
3月	4日(土)10:00～12:00	12日(日)10:00～12:00	19日(日)10:00～12:00	20日(月)13:00～15:00	12日(日)10:00～12:00

◎里親応援メニューの予約などにつきましては、各施設へ直接お問い合わせください。

里親 支援機関	(全 県) 秋田赤十字乳児院	☎018-884-1760	担当：高橋	(県 北) 陽清学園	☎0186-66-2104	担当：村上
	(県 央) 感恩講児童保育院	☎018-845-0483	担当：中田	(県 南) 県南愛児園	☎0182-32-6065	担当：宇佐美
	聖園天使園	☎018-838-1043	担当：須田・畠樫			

# 各地区里親会の活動紹介

## 秋田県北里親会

連絡先：阿部 悦男 携帯：090-3129-5478

毎年里親キャンプを開催し、里親家庭と施設児童の宿泊交流の機会を持っておりましたが、昨今のコロナ禍のため交流できない状況が続いておりました。令和3年度は感染状況も落ち着いてきたことから、日帰り交流会を開催しました。12月5日、鷹ノ巣駅から阿仁合駅まで内陸線の旅を楽しみました。



電車 vs 子供たち

電車を子供たちだけで押すことができるのか!!

想像力を働かせて、特別な絵の具で、石に絵を描いてみました。世界に一つしか無い自分だけの石です。



車掌さんに変身



warock(ワロック)の  
アート体験



電車の中でお弁当、おいしい!楽しい!

## 秋田県南里親会

連絡先：<sup>たかかい</sup>高階敦子 携帯：0182-32-7764

県南里親会では、ふだん施設で生活をしている子に家庭での生活を提供する「家庭生活体験支援事業」を主に、年に一度「ふれあいキャンプ」を企画したり、里親や里親活動に興味のある方を対象に、里親支援専門員を交えて情報交換などを行う「里親サロン」といった子供たちとのふれあいの場を毎月設けたりといった活動を行っております。

### 家庭生活体験支援事業

本事業は、施設で暮らす子供たちを週末や長期休み・お盆・お正月に自宅に招き、生活を共にして家庭的な雰囲気・生活を体験するものです。里親と一緒に夕飯の買い出し・食事作りをしたり、お盆はお墓参りをしたり、お正月は皆でおせち料理を食べたりしています。

毎月・毎年と回を重ねていくうちに、不思議な絆で結ばれて行くのを感じます。その絆が太くなり、長くなって、施設を卒業した後もお互いに交流しているケースもあります。実家や実親に恵まれない子にとって、里親家庭は実家の様な役割を担っており、困ったときの心のよりどころになっています。やんちゃで手を焼いた子が大人になって、自分の働いたお金で贈り物をくれた話もあります。



### ふれあいキャンプ

ふれあいキャンプでは、例年保呂羽少年自然の家で里親と施設の子でキャンプをしたり、釣りキチ三平の里でそば打ちをしたりしています。昨年は大森町の南部シルバーエリアでいものこ会を開催しました。いものこ汁の他、味付けご飯・サラダ・いぶりガッコをみんなで作り好評でした。子どもたちが切ったいぶりガッコは、形が様々でつながったところもありましたが、皆美味しいと食べていました。美味しい物を沢山食べて、スポーツをして、楽しい時間を過ごしました。



県南里親会は、里親と里子、愛児園の職員の皆さんで作るアットホームな会になっています。里親一年生から20~30年のベテラン里親、これから里親になろうとしている方まで様々です。子どもたちの笑顔が広がるよう、幼い頃の楽しい思い出作りにぜひご協力ください。一緒に活動していただける仲間を求めています。

子どもたちと一緒に成長する会です。今後ともよろしくお願いたします。

秋田中央里親会の活動紹介



里親サロン公開型～里親を楽しもう～

里親について理解を深めてもらおうと、会員や支援者のほか、里親制度に興味を持たれた方等、定員いっぱいの30人が参加し、体験談に耳を傾けたほか、意見を交わし里親のあり方を考えました。(里親制度普及啓発事業)



感恩講草刈りボランティア

里親と児童養護施設は日頃より近い関係にあります。その中の1つ「感恩講児童保育園」で草刈りボランティアと育児の情報交換を行いました。



2021夏のレクリエーション in にかほ市

会員同士の交流のために1年に1度、県内の観光施設や教育施設に皆で小旅行に出かけます。昨年は、にかほ市「中島台レクリエーションの森」。広大なブナ林に囲まれた散策コース約5kmをガイドさんの説明を聞きながら回りました。鳥海山の伏流水に手を浸し、鳥海マリモと呼ばれる苔の群生地を見て、樹齢300年幹回り7.6m「あがりこ大王」を間近に接してきました。



秋田県里親研修体験発表

里親登録する方が事前を受講する「秋田県里親研修」において、里親体験者として日頃の様子や心持などを受講生の方々にお話させていただいています。

令和3年度は2回、聖園天使園で2名の会員が発表を担当しました。



## 県北地区里親会 施設と連携し、自立支援活動を継続

県北地区里親会では施設と連携し、退所児童が安定して就労や日常生活を営むことが出来るよう、継続した自立支援活動を行っています。

今春、会員の阿部さんがいる建設会社でA君を採用しました。

A君は児童養護施設を退所したばかりの18歳です。阿部さんと自立援助ホームに勤務している石垣砂津子さんは、A君が施設で生活している時から日常生活の援助に加え、どんな仕事に就きたいかを丁寧に聞いてきました。時には求人票の見方、履歴書の書き方、発送までを一緒に行ったり、仕事をしていく上での心得などを日々の生活の中で話し合ったりしてきました。

退所後も、A君の住宅や生活の援助等、就業が継続できるよう引き続き支えています。

石垣さんは「本人は、生活習慣は身につけている。時々面談して、様々な心配事などの相談や連絡係として寄り添っていきたい」と話しています。

また、「職親」でもある阿部さんは、「早く仕事に慣れ、先輩たちからたくさん知識や技術を学び取り、身に付けて頑張るって欲しい」と若い力に期待しています。

会社はJR関連の土木工事等を担っています。A君は自然が好きで、小さい頃より「自分で家を作りたい」という夢を持ち、土木分野の高校を卒業しました。「多くの資格を取得して業務の幅を増やし、会社の一員として頑張りたい」と張り切っています。

これからも支援を継続していきます。

(文責 県北里親会会長 石垣 砂津子)



### 自立援助ホームとは

自立援助ホーム(児童自立生活援助事業)は、義務教育を終了した20歳未満の児童であって、児童養護施設等を退所したもの又はその他の都道府県知事が必要と認めたものに対し、これらの者が共同生活を営む住居(自立援助ホーム)において、相談その他の日常生活上の援助、生活指導、就業の支援等を行う事業です。児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の2第1項 第33条の6 (以下略)



#### 【施設の概要】

設備母体：  
社会福祉法人 県北報公会  
名称：児童自立援助ホーム  
「ようせい」  
定員：6名  
開設：平成19年4月1日

#### 【施設の目的】

児童自立生活援助事業は、児童の自立支援を図る観点から、義務教育修了後、児童養護施設、児童自立支援施設等を退所し、就職する児童に対し、これらの者が共同生活を営むべき住居において、相談その他日常生活上の援助及び生活支援を行うことにより、社会的促進に寄与することを目的としています。



## 自立支援の年齢制限が撤廃されます

「児童養護施設や里親家庭で育つ若者の自立支援に関し、原則18歳(最長22歳)までとなっている年齢上限を撤廃する改正児童福祉法が6月8日、参院本会議で全会一致により可決、成立した。虐待を受けた子どもを親から引き離す一時保護の要否を裁判官が審査する制度も導入する。(中略)

施設などの保護を離れた「ケアリーパー」は親を頼れずに困窮、孤立に陥りやすいとされる。支援を年齢で一律に制限することをやめ、施設や自治体が自立可能と判断した時期まで継続できるようにする。

施設を出た後のサポートも強化するため、相談を受ける拠点の整備にも取り組む。」(共同通信より)

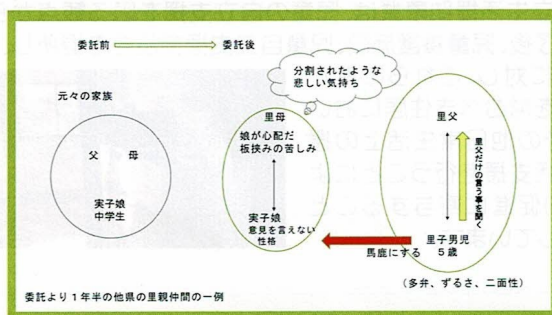
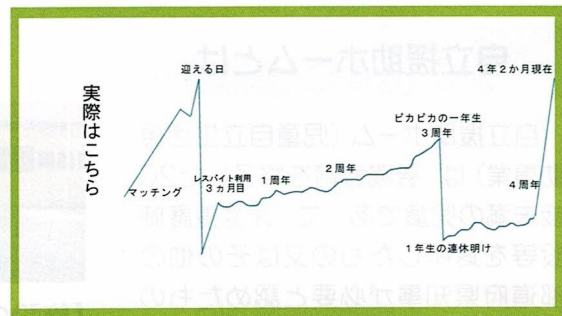
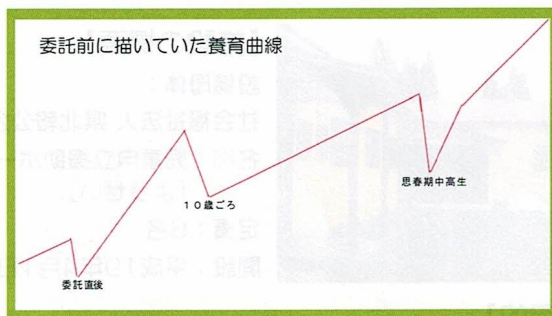
# 《あきたの里親応援団》より

能代市 養育里親 工藤 有美

## — 里親研修での体験発表を終えて —

「大変なことを頼まれたな、ああ、断ればよかった。」と当日まで思い続けました。自分たちの登録前の気持ちや背景に思いをはせながら、喜びも苦悩も山盛りの里親道、委託から4年経った今の私は、登録前の方に何をどれだけ伝えるか、たくさん悩み抜きました。なんと今回は3会場リモートで秋田県全域の里親志望さんが聞いているのです。なんとというプレッシャーだろうか、気が重い時間が過ぎました。けれど数日前に私の気持ちは変化しました。こんな機会ありがたい!! 微力ながら

《あきたの里親応援団》を立ち上げた自分たちだ、どんな人なのか知ってもらえば相談の敷居は下がるかもしれない、そう思いました。不調を予防したい、孤立を防ぎたい、ずっと思い続けているしこの先も間違いなく思い続けるであろうから、と。私の口下手はどうやら死ぬまで治らないようなので今回も定番のスライドに頼りました。そして、真剣に話しました。実際に起きた大変なことも嬉しかったことも全て包み隠さずに。



でも!!  
 問題解決に向けて家族会議を重ね  
 同じ方角を向いて歩めたなら  
その先には  
とても素敵な世界があったりもします。  
 それには多くの時間が必要

来てくれた彼のおかげで

★ 見せてもらえる世界が、出会えた仲間が学べたことがたくさん。  
 ★ そして、まだまだ成長ができそう!!!

そんな生き方を選んだ私たち一家です

## — 秋田の仲間と成長していきたい —

里親経験者は「この道は険しくて大変ですよ」とまるで脅かすかのように言うかもしれません。子どもとの関係を築くまでにこんなにか？ 1か月2か月じゃない??? 年単位だなんて？

でも、私たちが80年健康で生きられたとして、その内のたった4、5年尽くしたら、一人の人がすごく幸せになるなんて、関わった家庭も迎えた子どものことで大きく絆が強まるなんて、人として成長が出来るなんて、こんな幸せなことがありますか？大変な分だけ大きく変わると信じています。

この4年で我が家に迎えた子どもの中に芽生えたものは俺ってなかなかいい！そんな自分への自信です。学習困難を抱えている子どもですが、学習への取り組みが変わったことが物語っていると感じています。

「怖いけどやってみよう」「あそこに行ってみよう」「これやってみたいな」という挑戦する心。そんな風に未来への展望を持てること、これは自立する時に大きな力になります。

養育も含め、目の前の子どもたちの背景や現実はきついものがあります。それらにぶち当たった時、大切なのは一人で抱え込まないことです！

里親の世界は知恵と仲間が武器になる世界です。学びが身を助けます。

里親の要件は熱意とありますが、私は愚痴る

ことが出来る力、助けを求める力と考えます。

自立は依存先を増やすことなんて言われますよね。預かる子どもたちにもそうなって欲しいと願いますよね。

いくらでもどこまでも幸せにと。

それならば大人がそのロールモデルになりたいと思うのです。恥も何も余計な物は捨て去って、カッコよく助けて！困ってるの！と言える姿を子どもに見せていきませんか。

とはいえ我が家もまだまだ道の途中です。ここにいる秋田の仲間と共に切磋琢磨していきけることを心から楽しみにしています。



家庭からのひとコマ

## 講演研修会と表彰式を開催

令和4年3月5日、秋田市の西部市民サービスセンターで里親研修講演会と表彰式を開催しました。県立医療療育センターで副センター長を務める澤石由記夫医師が「子供の心の発達」と題して講演しました。会員や関係者約30人が参加し、親子の愛着形成の大切さを学びました。

講演に先立ち行われた秋田県里親連合会表彰では、秋田市の吉野夏子様と能代市の工藤誠一様、工藤有美様ご夫妻が受賞されました。会員はじめ、政界関係、行政関係、児童福祉関係の方々が参加下さり、子どもたちの幸せを願って今後も活動を継続、発展させていくことを確認しました。

## 先人に学ぶ 2

秋田県里親連合初代会長 佐藤忠俊氏のこと

秋田県里親連合会 会長 高橋恭康

「里親会はどうあるべきか」歴史を振り返りながら考えていきたいと、前号に続いて資料と証言を紹介していきます。

秋田県里親連合会創立大会は昭和29年12月21日に池田秋田県知事をはじめ本間金之助社会福祉協議会長など政官財界から錚々たる方々の臨席により盛大に開催されました。

この日の様子は昭和30年1月25日秋田県児童相談所が発行した「会報」1号に以下の様に記載されています。

### 「秋田県里親連合会誕生！ 手を組む里親達！ 創立総会盛況裡に終わる」

「児童福祉法による里親制度が布かれてから満5年を迎えて旧臘(12月)21日午前10時より池田秋田県知事、本間県社会福祉協議会長の臨席を得、地区里親会全員及び地区事務当局側参集開催された。雪もよいの朝であったが定刻頃になって日陽しとなりこの日の発足を祝うかのようであった。」(原文のまま)また、会長に就任した佐藤忠俊氏は挨拶で「今回二百五十名の同志が盛り上がり、正しい里子養育のお互いのアンテナを張るために『秋田県里親連合会』を誕生させたことは、洵に宿願の成就として万々歳である。(中略)然し『この会は私共お互いの会である』(中略)『里親精神は世界に通ずるものである』(中略)関係各方面のご支援と皆様のご協力を得て、重責を果たしたい決心に燃えている」と決意表明しています。



会報 第一号に掲載  
昭和30年1月25日発行

### 忠俊さんの事

元大阿仁村村長で、昭和31年10月4日さきがけ新聞に紹介されています。

「阿仁合線終着駅から大又川の清い流れに沿って3里、はやくも紅葉の見られる森吉山の山ふところに阿仁町(旧大阿仁村)根ツ子部落がある。・・同部落の農業佐藤忠俊さん(58才)テルさん(49才)夫妻が12人の子供たちの育ての親だ。大正11年春、父と継母にいじめられ畑中の道を泣きながらうろついていた女の子を引き取って以来、わが子とともに養育した子は12人(ほかに死亡した子は一人)うち二人は今なお佐藤さん方で生活、残る10人はすでに成長し人の子の親となっている。しかしその中にはりっぱに公務員の妻になった人もあれば、不遇のまま行方不明になったものもいるな



佐藤さん宅を望む。

ど、とりどりの運命と歳月をたどっている。大正11年といえば忠俊さんが25歳、妻テルさんが18歳のときで、昭和23年全国に里親制度が発足する26年前にあたる。

引き取られた12人の子どもは学校にはいり、林でアケビ取に興じ、修学旅行にも行かせてもらいながらスクスクと伸び、成人したものは花嫁道具をそろえてもらい、または田畑を分けてもらってささやかな家庭を持った。(中略)、夫妻の成功した教育法を聞くと羨はしっぴかり教え、立ち振る舞いは村の手本、食物は小さいものでも家族分配、勉強より信用主義をとっていることも注目される。佐藤さん方では切手販売をやっているが経理は子どもに任せている。結局モットーは『外はかたく、内はやわらかく』の指導だ」

### マタギ発祥の地、根子番楽の里、根子集落に行ってきました。

秋田内陸線笑内駅向いの道路を入り根子トンネルを抜けると『イギリスの伝説ブリガドーン村』を連想させる」と戸川幸夫が書いた緑鮮やかな根子集落が現れます。佐藤さん宅を訪問し、お孫さん(早苗さん75才)とご主人(哲也さん80才)そして里子だったチセさん(85才)にお話を伺いました。

**早苗さん** 「祖父忠俊は8代村村長で、佐藤家17代当主と墓石に書いてあります。

忠俊の母親、私の曾祖母のアヤさんが立派な人で、肝入りの湊家から嫁いで来られ、大した物知りで、早くに未亡人になって。苦勞してこの家を守ってきた。戦時中、愛国婦人会というのをやっていて、農繁期に部落に託児所を開設し、その補助金で木を植えたり、国から表彰された金一封も地域のために使って木を植えたり。農業しながら家の中では実際には、私の母とで子供たちみんなの面倒を看たんです。テルさん(忠俊の奥様)は



学校の先生でしたから。私は15歳ごろまでアヤさんと同じ部屋で寝ていましたよ。

忠俊は戦後村長を辞めてから公職追放で何(公職)もしていなかったのではないかなあ。

山の木を売ったお金を持って東京に2か月も出かけて行くこともありました。

いつも着物を着ていて、子供好きで、近所の赤ん坊を懐に入れて来たり、テレビも無い時代に『相撲』という雑誌を取っていて、よく学校帰りの子供たちが縁側で集まって見ていたりしていたんです。

私方は怒られた事もないし、大きな声を出すでもない穏やかな人でした。お酒は飲まなかった。ただ、すごく字の上手な人であったんです。」

**チセさん** 「私は、昭和20年、戦争が終わった年の秋に黒石からこちらに来ました。テルさんのお姉さんが弘南鉄道黒石駅で売店をやっている、そこに世話になっていた関係で。9歳で小学2年生でした。その時この家には他に2人の子供たちがおりました。それからずっと家族として暮らして昭和38年のとき同じ部落内に嫁ぎました。子どもたちの中では私が一番長くいたことになります。他の子どもたちは4～5年ぐらいで出ていきましたもの。それでも何か行事があるときには皆この家に集まって来ました。」

「ここに来てからは皆と家族で幸せでした。特にアヤばあさん(忠俊氏の母堂)からは色々な事を教わりました。畑の仕事、家の仕事、家内行事のしきたりなど本当によく教えてくれました。『何事も人のやる事を傍でよく見て覚えるんだよ』とよく言われたものです。秋になると朝2人で栗拾いによく行きました。」

「忠俊さんは、普段は着物を着てました。どこかに出かける時だけ洋服でした。とにかく本当に子ども好きな人で近所の子どもたちにも『皆来い来い』と良く声をかけ一緒に遊んだりする人でした。相撲の雑誌をとっていたので子供たちが見に寄って来るのです。何か仕事(公職)をしていた訳ではなかったと思います。確か選挙に出たことはあったけれども・・・いつだったか石田博英が来て泊まって行きましたよ。」

あと確か熊の薬なども仲間の人たちと作ってました。」「また、2か月くらいもずっとどこかに行くこともありました。そしてその時には行った先のお土産を必ず買ってきてくれました。私たち皆に。一人ずつ皆に。」(本当に嬉しそうに話して下さいました)

## 石橋湛山の揮毫額を拝見しました!

ご自宅で石橋湛山揮毫の額を拝見して大変驚きました。「上善如水甲午長月昭和29年(1954年9月)為佐藤君」と記されています。連合会会長就任3か月前です。

この時期の湛山は公職追放を解除されて政界復帰し、吉田茂内閣打倒に向け全国遊説など盛んに活動していた時期です。湛山に私淑し公職追放中も「側近」を公言していた大館県北を地盤とする石田博英もまた石橋総理実現に向け奮闘していた時期でもあります。



佐藤さん宅床の間掲示

忠俊氏も昭和19年1月10日～昭和21年1月4日まで大阿仁村村長を勤めた後、GHQによって昭和26年(1951年)まで公職追放されています。自由党と民主党の保守合同後の昭和31年12月、自民党総裁選で岸信介を決選投票で破り、石橋総理誕生の立役者であった石田博英が選挙のため根子部落の親方を訪問したのだと思います。また、長期に自宅を留守にした間に中央政界とも何らかの接触があっただろうと想像されます。忠俊氏は昭和30年4月の秋田県議会選挙に立候補します。この時の肩書には「秋田県里親連盟会長」と記載されています。結果は落選でした。この時第3回秋田県知事選挙も行われ小畑勇二郎が大差で初当選しています。

**チセさん** 「忠俊さんは昭和39年11月29日に亡くなりました。血を吐いて倒れられて米内沢の病院に入院したの

です。私は近くに住んでいたの奥さんのテルさんと二人で半年ほど泊まり込み介護しました。67歳であったと思います。」

**哲也さん** 「病気見舞客の中に政財界関係者がいたかどうかはわかりません。葬儀も現在のように広い葬祭場があるわけではありませんし、情報も発達していた時期ではありませんでしたから地域や身内の方々がほとんどでした。ただ知事代理として松橋副知事が臨席されました。弔辞を代読したかどうかは定かではありません」

秋田県里親連合会は激動の戦後政治に深く関わりながらその歩みを始めていたのです。

(アンダーラインは筆者)



さがけ新聞 昭和30年4月14日

本レポート作成に当たって、石橋湛山記念財団事務局、北秋田市阿仁支所、北秋田市佐藤哲也早苗様ご夫妻、佐藤チセ様、芝浦工業大学田中友佳子先生、には大変お世話になりました。資料として「石橋湛山日記」(石橋湛山)「マタギ」(戸川幸夫)「私の政界昭和史」(石田博英)「秋田魁新聞」(昭和30年4月14日、31年10月4日)「あきた」(通巻17号1963年10月1日)を使用しました。本記事についてのご質問やご意見は秋田県里親連合会高橋までお願いいたします。

## 里親を応援する会より

今年度も秋田県議会議員の方々からご支援をいただくことになりました。竹下博英様、三浦茂人様、鈴木真美様、この場を借りて御礼申し上げます。

引き続き皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

応援する会 事務局

### 「里親を応援する会」について

- 1 「里親会」が行う児童との交流、週末・夏休み・冬休み等の短期委託や会員研修、講演会などの活動を支援し、里親制度を推進するため会員を募ります。
- 2 個人年会費……1口 2,000円以上 法人団体年会費……1口 5,000円以上
- 3 毎年4月1日～翌年3月31日を会計年度とし、総会にて事業報告決算を報告します。
- 4 ご協力頂いた方のご了解を得て、御芳名、法人名、団体名を「里親会ホームページ」に掲載します。

#### 郵便振込先

□座番号：02240-5-139089  
□座名：里親を応援する会

#### 銀行振込先

秋田銀行 外旭川支店 普通 1047695  
□座名：里親を応援する会

## ブラウブリッツ秋田ホームゲームにご招待

子供たちのすこやかな成長・発達には、特定の大人の愛情を受けて育つこと、「家庭」と同様の環境で育つことは必要だと言われています。しかし現実には、様々な事情で保護者と離れて暮らしている子供たちが数多くいます。

ブラウブリッツ秋田は、秋田の子供たちの明るい未来を実現すべく、里親制度の普及活動並びにホームゲーム招待という形で支援させていただきます。

秋田県内の里親制度利用者のご家族を2022シーズンホームゲームにご招待します。



© 2022 BLAUBLITZ'AKITA/Warau(BBPU)

#### <2022シーズンご招待ホームゲーム日>

9月10日(土) vs 徳島ヴォルティス	18:30 kickoff
9月18日(日) vs ザスパクサツ群馬	14:00 kickoff
9月25日(日) vs FC町田ゼルビア	14:00 kickoff
10月8日(土) vs ジェフユナイテッド千葉	14:00 kickoff
10月23日(日) vs ベガルタ仙台	14:00 kickoff

この活動は今後も継続していきます。

BLAUBLITZ  
AKITA



## 編集 後記

まずは前年踏襲、を目標に会報8号をお届けしました。続々と届く原稿を皆様より先に読ませていただくのはとても楽しい作業でした。こっそり初めてiPadで描いた絵も載せていますが、温かい目で見て下さいね。今後は各ご家庭からイラスト等挿絵を募集しても良いかも……。夢が膨らみます。

会報の編集作業であたふたしていた7月から8月にかけては、毎週末海へ山へ公園へと、とにかく外に出て子どもとたくさん遊びました。来年はまた一つ大人になる子どもたち、きっと今年とはまた違った夏になることでしょう。目まぐるしく時代は変わります。今を共に生きる喜びをかみしめながら、日々全力で、楽しんでいきたいと思っています。

2022年9月 秋田県里親連合会

## 製作

秋田県里親連合会 〒010-1602 秋田市新屋下川原町1-1 秋田県中央児童相談所内  
TEL 018-862-7311 HP satooyaakita.com 検索

